

演題名 **おうちを元気にからだを元気に — 多摩ニュータウン・ケア連携バリアフリー改修事業—**

御所属 **ひとみタウンケアクリニック院長**

大池 ひとみ 講師

内容

【ケア連携型バリアフリー改修体制整備とは】

「本人・家族」と「医療者」「設計者」「施行者」がともにアイデアを出し合い、共働きし将来まで考えた多様で効果的な住まいの改修。

年をとっても、病気や障害をもって、住みなれた家、住みなれた地域でいつまでも暮らせること、そんな 街づくり。

【おうちを直す 用具を購入(レンタル)する】

医療主導の改修: 医療・リハスタッフ⇒本人・ケアマネ・設計・工務店・福祉用具業者

生活主導の改修: 本人⇒(ケアマネ)⇒設計・工務店・福祉用具業者

本当に適したもの 本当にほしいものが手に入っているのか？

【住宅 福祉用具の難しさ】

ひとりひとりの病気障害が違う

病気障害は、その時期によって変化する

ひとりひとりの今までの生活の仕方が違う

「医療(リハビリ)は 非日常」 「生活は日常」

「当事者優先 顧客優先」であり、しかし、「プロの判断 診断」が必要

「プロの判断 診断」が必要であり、しかし、「当事者優先 顧客優先」である

【医療のプロ と 住まいのプロ 両者が係ること】

在宅医療の立場から、生活に根差した医療をめざす。

設計の立場から、人と物の間を取り持ち、暮らしにあった住まいをめざす。

施工業者の立場から構造建築に基づいた プロの建物をめざす。

